

本マップは東温市、東温市観光物産協会、愛媛大学法文学部人文学科観光まちづくりコース（観光文化系）が連携して制作しました。制作にあたり、地域に学ぶ「Toon CityTourism Study Workshop」を開催し、1年間かけて成果をまとめました。Study Workshopでは、東温市の地域資源についてディスカッションし、現地での調査をもとにマップを作成しました。この木の葉は、今回参加者が見つけた東温市の魅力ある資源ひとつひとつを指しています。みんなの手で守り大切に育てていきたいと思っています。

本マップは、東温市観光物産協会「東温版エコツーリズム・エコミュージアム実現事業」経費、愛媛大学 法文学部人文学科演習・実践授業実施経費を使用いたしました。



東温市  
みなら  
MAP

みずと  
駅のまち

2013.02

2014.09増刷

本マップは、現地調査を行った当時のスタッフの思いや感じたことを生かすため、現在は変わった景観なども当時のままで紹介しております。

Toon City Map in Minara

# 東温市 見奈良 地区

重信川と鉄道がいざなう  
古きまち・新しきまち 見奈良



見奈良地区には、見奈良・横河原・志津川の三つの地域があります。東温市役所が位置する見奈良には、図書館など公共施設が集まり、市の業務の中心的な役割を担っています。市役所がある県道一九三号線を境に、北側には住宅地が広がり、南側には田園風景が広がっています。そこから鉄道に沿って北に進むと横河原です。伊予鉄道横河原線の終着駅である横河原駅には横河原商店街が広がり、多くの商店が立ち並びます。横河原に接した志津川には、古い町屋がある旧街道の町並みと、近年開発が進んだ新しい住宅地域がみられ、古い文化・新しい文化の両方を感じることができます。

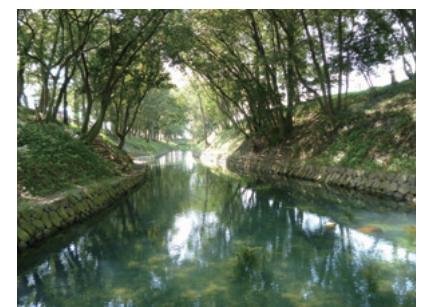
このような特徴を持つ見奈良地区は、伊予鉄道横河原線によって結ばれています。明治三十二年に横河原駅が開業し、駅を中心として横河原商店街が築かれ、志津川や見奈良にも新しい家が増えました。もうひと



重信川を中心とした水の文化が三つの地域を結びます。これらの見奈良地区的発展は、この地域の人ひととの工夫と努力によってなされました。今もなお新しい人々がこの地域に移り住み、見奈良地区は大きく変化しようとしています。豊かな重信川の自然、歴史や伝統、商店の賑わいに加え住宅・医療・福祉・教育など「住んでよし」の新しい魅力が加わった見奈良地区。この地図をもって、見奈良・志津川・横河原の三つの地区をめぐってみましょう。



▲地域を結ぶ架け橋・伊予鉄道横河原線  
人々の思いを運んでいます



つ、三つの地域を結びつけるものとして忘れてはならないのが「重信川」です。東温市では、重信川の伏流水によって暮らしや農業を支えてきました。横河原には、「かどみせ」と呼ばれる商店のすぐ近くに一本松泉と呼ばれる水路が流れています。その流れは志津川へと伸び、その途中で見奈良にも分水できるように整備されています。この余り水も重信川に戻すことができるよう専用の水路が設けられています。また、重信川沿いには人々の手によって泉(湧水)が掘削され周囲の水田を潤しました。井戸、泉、水路、また水害への治水事業など、これら重信川の水にまつわる歴史と暮らしさは、現在でも見奈良地区の何気ない風景の一部として見ることができます。

# 今も昔も変わらないまちへ 人々の想いを乗せて運び続ける



すっきりとした味わいのアイスキャンディー。  
常連さんは氷のつぶがシャリシャリとおいしい  
ソフトクリームもおすすめ！！どちらもかどみせの  
オリジナルです。かどに建っているから「かどみせ」！



## 今も昔も変わらない味と製法 かどみせ

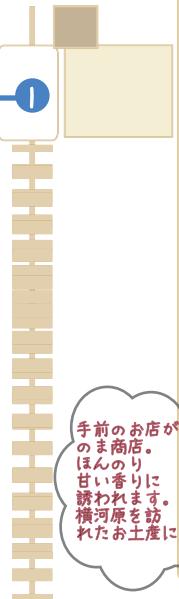
1936年から始めたアイスキャンディーの販売はおいしいと評判を呼んで大人気商品になりました。このアイスキャンディーは、1929年から引かれた重信川の伏流水（簡易水道）でつくられています。今でも変わらぬ味と製法で、3月半ばから10月末まで販売しています。歴史ある趣のお店は、子供からお年寄りまで長く地元の人々に愛されてきたことを物語っています。

## 今も昔も変わらないまちへと 続く人々の想いも伝える運び屋 横河原駅

1965年に伊予鉄道の森松線が廃線になり、横河原線も赤字を理由に廃止してバス路線への転換が進められようとしていました。そこで、横河原駅周辺の住民を中心廃止の反対の機運が高まり、路線存続の要望があこなわれました。その甲斐あって存続が決定し、1967年に電化工事は完成し、松山一横河原間の直通運転が行われるようになりました。路線の発展により、横河原周辺では住宅開発が進み、重信全体は大きく姿を変えました。横河原線はこの地域の住む人々にとって共に発展してきた、なくてはならない存在です。



駅舎の内装は明治に建てられたままの姿で残っています。



手前のお店が  
ほんのり  
甘い香りに  
誘われます。  
横河原を訪  
れたお土産に！

## 窓から見えるアイロン掛け 佐伯クリーニング店

一つ一つご主人による手仕上げのクリーニング店。昔から使っている道具でアイロン掛けをしている様子がショーウィンドーから覗くことができます。手作業の様子、道具、昔ながらの雰囲気、お店に立つと昭和にタイムスリップしたようです。



## 主人の造る毛針が有名！ しらかた時計店

時計店の3代目店主は毛針名人としても有名。時計の修理をするその手先の細かい技術を活かし、長年毛針やサバイバルナイフを手作りしています。その毛針を求めて横河原に訪れるお客様も多いほど。毛針は販売していないませんので、手にした方は幸運です。



## タルトに似せたとら巻き のま商店

とら巻のトラ様様は、熱い鉄板に専用の紙を敷き、生地を流し込んで焼き目がつくことで生まれます。その生地につぶあんをたっぷり入れ、筒状に巻くことができ上がりです。生地はとても柔らかく、甘さ控えめなあんこととても相性が良いお菓子です。防腐剤などを一切使っていないため、賞味期限は夏場で2日ほど、冬場は4日から5日ほどとなっています。



毎日限定 200 個の販売！早く行かないとい  
売り切れてしまう大人気のとら巻き。

横河原商店街は鉄道開通からつぎつぎと人家が増え、交通、物資の集散地として機能し、戦前には精肉店、鮮魚店、豆腐屋、こんにゃく屋などの食品や、2軒の旅館、映画館や地方めぐりの劇場があるなど、農村娯楽のセンターでもありました。今日でも創業100年を越す商店が立ち並ぶ。昔ながらのアイスキャンディー、昔の工夫から生まれた卵をたっぷり使ったポンジであんこ巻きなど、昔の味を守りながら、時代とともに生きています。



## まちとまちへと人を運ぶ橋渡し集落 渡津集落

重信川を中心に西側に横河原地区、東側に南方地区があります。この2地域へ続く橋がなかった当時、横河原地区は重信川を挟んだ金毘羅街道をつなぐ渡津集落として機能していました。渡津集落の人々は、肩車やおんぶをして横河原から向こう岸へ、向こう岸から横河原へと人を抱えて重信川を歩いて渡る、橋渡しの役割を担っていたのです。

渡津集落の人たちが歩いて人を渡した距離を実際に橋の上を歩いて実感しよう。



長い取扱をあつたためから使う昭和のアイロンで仕上げているアイロン掛けの様子は職人芸！

## 地域の個性と風を五感で感じる サイクリングロード

**志津川**

志津川は中学校や高校、大学などの学校施設が整っており「教育のまち」としての役割を担っています。国道1号線を通して松山市までアクセスが良いため、近年では新興住宅地の開発が進み、医療・教育ともに充実した「住みよいまち」としての環境も整いつつあります。一方で、金毘羅街道沿いには町屋や酒造、かつて上市・中市・下市で開かれていた市場の繁栄を祈り守ってきた3地蔵など歴史を垣間見ることができ、志津川は古き文化・新しき文化が融合したまちです。

**見奈良**

見奈良は市役所やレスパッシティ、坊っちゃん劇場や愛媛医療センターなど施設がそろい、近年このような開発が進みました。同時に、南側には田畠が広がり、重信川の自然を感じられる「自転車道」や豊かな水資源を感じられる「柳原泉」、秋には一面に広がる可憐な「コスモス園」があります。立ち並ぶ都会的な施設のすぐそばに豊かな自然や農村景観を見る・ふれることができる、東温市ならではの特徴が見奈良にはつまっています。

**とうておきの通学路**

東温高校の裏道 東温高校の裏の細道は電車がすくそばを走り抜ける迫力満点の通学路。走る車の写真を激写できました。(ない) ポン

**町屋の風景・鍾の寝床**

島田酒造奥辺 間口が広く奥行がある縦長の町屋の風景はうなぎの寝床と呼ばれています。明治創業の島田酒造を中心に古い建物が並んでいます。

**隠れトンネル**

水天宮前・松山市内線の下を通るトンネル 地元のみぞ知る隠れトンネル。天井が低いので簡単には見つけられません。秘密の抜け道を誰か教えてくださいナシ!

**生活感あふれる水路**

二本松泉 民家の下を流れる水路・二本松泉。志津川や見奈良にも通じているので泉川とも呼ばれています。見奈良・横河原・志津川、そして重信川をつなげる水路です。

**一面のコスモス**

柳原泉 木々に囲まれ、柳原泉はゆったりとした時間が流れの湖畔スタイルの憩いの場!綺麗な水がわき出て水音に支配される空間はまさに見奈良の南にある静かな空間で自転車旅の一休みにどうぞ。

**住民の憩いの場**

柳原泉

**五感で感じるトンネル**

高速道路の下・自転車道へと繋がるトンネル 風の音やコスモスや田園の匂い、前から差し込んでくる光などどこを通ると見奈良を五感で感じることができます。

**桜のトンネル**

重信川沿いの自転車道 桜並木が綴る重信川沿いの自転車道。走り抜けるとまるで桜のトンネルのように感じます。地域の人々のお散歩コース。ゆっくりとした時間が流れのおすすめのサイクリングロード。

## 横河原

かつては扇状地であった横河原は、明治32年に横河原駅が開業し、商業を営む人々が集まり賑やかな駅前商店街を築きました。「明治に端を発したまち」として、横河原商店街には明治から昭和の初期に建物や看板、店道具がところどころに残り、「明治・大正・昭和」の雰囲気を「平成」に居ながら感じることができます。昔のままの姿を残すこのまちでは、ぜひ自転車を横河原駅に停めて、パンフレットとみなが歩いてみましょう。

**桜のトンネル**

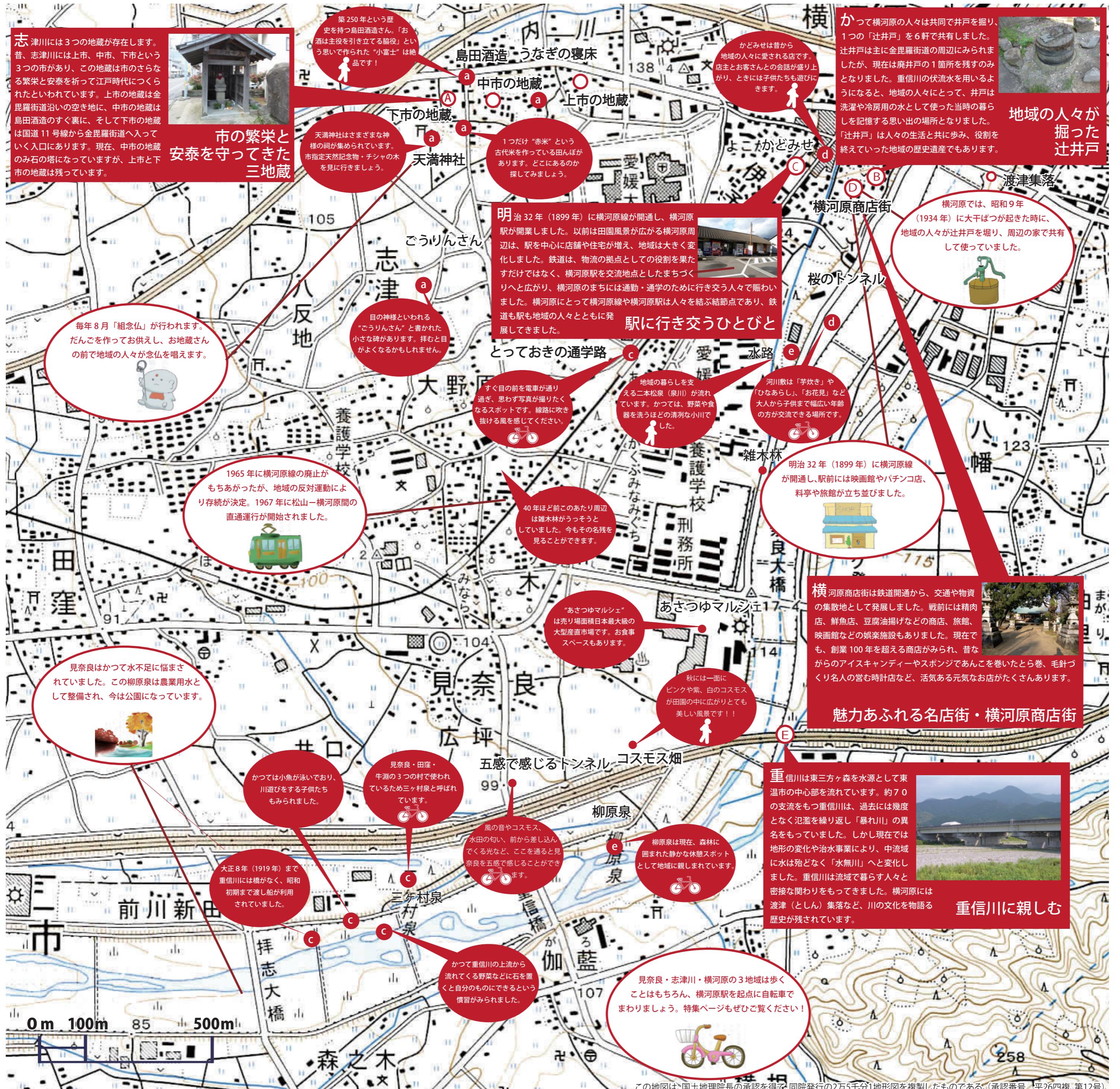
重信川沿いの自転車道 桜並木が綴る重信川沿いの自転車道。走り抜けるとまるで桜のトンネルのように感じます。地域の人々のお散歩コース。ゆっくりとした時間が流れのおすすめのサイクリングロード。

見奈良全体を回るには自転車が一番です。重信川の自然を楽しみつつ、見奈良・志津川・横河原それぞれのエリアも楽しむことができます。ここでは自転車ならではの、お勧めスポットを紹介。地域に住む人々だけが知っている自転車で通る絶景ポイントや裏道、自転車をとめたり押したりして楽しむスポットを紹介します。各地区ではぜひ自転車をとめて歩いてみましょう。これで、あなたも見奈良運です!



# 東温市 みなら MAP

見奈良は重信川沿いにひらけた市街地・東温の中心部です。横河原駅周辺には商店が立ち並び、古い金毘羅街道、新しい住宅街や学校、レクリエーション施設広がる田園など、様々な景色がみられます。東温市を訪れたら、まずは見奈良散策から。歩いてみたり、自転車に乗ってみたり、このまちの新しい景色を探してみましょう。



見奈良地区は市役所やレスパシティなど施設が揃い、東温市のなかでも都市的な印象を受けます。ふと南側に視線を向けると田園の景色が広がり、「重信川流域」を楽しむことができるサイクリングロードが整備され、自然と触れ合うこともできる地域です。重信川の伏流水は横河原の生活基盤。地域の人々が重信川に親しみ、水を大切に扱ってきたことを象徴する「辻井戸」は、今も街道沿いに残されています。

志津川は大学や高校など教育施設が整った“住んで良しの街”。松山市へと続く国道11号線があるため、近年では新興住宅地が広がり、新しい住民が増えつつあります。一方ですぐそばでは、江戸時代の町場の繁栄を記憶する「地蔵や町並み」など古い文化を感じられます。

鉄道もまた、見奈良地区の特徴のひとつ。横河原では1899年に「横河原駅」が開業し、物資運搬の拠点として繁栄しました。駅前には商店が立ち並び、活気ある「横河原商店街」を形作りました。

見奈良の3つの地域、横河原・志津川・見奈良には、重信川の自然環境を満喫できる場所、古い建物が残る歴史ある街道、活気ある商店街、鉄道などさまざまな見どころがあります。このマップをもって、地域を象徴する5つのテーマから探検してみましょう。

## 電車の音も 商いの声も このまちの賑わい